

令和7年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算審査特別委員会審査
報告（審査期間：令和7年3月14日～19日（4日間））

去る3月13日の本会議において、当初予算審査特別委員会が設置され、「令和7年度伊仙町一般会計他5特別会計予算」が当委員会に付託されました。3月14日から19日までの4日間、本特別委員会において慎重に審議致しました。

まず、3月14日に行われた現地調査について、委員並びに議長を含む14名で、令和7年度当初予算に係る主な箇所について現地調査を行い、町長をはじめ、担当課長及び担当職員から詳細な説明を受けました。

調査場所は、令和4年度社会資本整備総合交付金を活用し、現在工事が進められている下向里団地、建替え計画が進められている学校給食センター、令和7年度より建設開始予定となっている鹿浦小学校、昨年12月にオープンされた世界遺産センター、カムイヤキ遺跡や面縄貝塚遺跡など国宝重要文化財が展示されている歴史民俗資料館までの全5か所の調査を行いましたので主な事項についてご報告と要望をいたします。

- ・給食センターについて、昭和41年より供用開始され今年で59年

目を迎える同施設は、早急な建替えが必要となっており、現在の計画では隣地の町有地と私有地を購入し現地建替えで計画が進められていました。新たな施設では、衛生面に配慮された機器の導入をはじめ、災害時に備えた発電機や食材備蓄庫の整備、調理の様子が見学できるスペースが設けられているとの説明でありました。新設にあたって給食センターが町民全体に幅広く利用されるよう、学校給食のみならず福祉施設や保育所などへも提供できる体制がとれないか検討すること。また、現在給食運搬に利用されている県道までの道路が狭いことから、並行して道路の整備計画も検討すること。台風時など定期船が欠航となった場合に備えた備蓄冷蔵庫の設置も検討するよう要望いたします。

・次に、鹿浦小学校建築については、地元関係者を中心にワークショップを開催し現地建替えとして基本計画が策定され、令和7年度から令和8年度にかけて建築が進められる予定としていますが、補正予算審議や特別委員会において、仮設校舎に係る経費の問題や現地建替えとした場合の体育館の問題など多くの指摘事項が出されました。補助事業といえど貴重な自主財源も伴うことから、事業全体の予算について再度精査する必要性が感じられたため、地元集落民を含め再検討されるよう要望いたします。

・次に、世界遺産センターについて、昨年12月徳之島町花徳にオープンした同施設は環境省によって建設され、徳之島3カ町から各1名ずつの出向職員と2名の嘱託職員によって管理運営がなされています。施設内では、約150種のはく製やレプリカを配置して島の森が再現されたジオラマ。タッチパネルを使って動植物の詳しい解説や映像を拡大して細部まで見ることができるスペース。大きなガラス張りで世界自然遺産エリアである三方通岳を見渡しながらくつろぐスペースが設けられ、島の新たな観光拠点として期待されますが、来館者への対応として音声ガイダンスでの案内やQRコードを活用した説明等も取り入れることで利便性向上につながるのではないかと感じられました。

・次に、歴史民俗資料館について、本町では国指定史跡である徳之島カムイヤキ陶器窯跡及び面縄貝塚をはじめ多く歴史的価値のある遺跡が発見されていますが、学習教材としての取入れやイベント等を通じ町内外への更なる認知度向上に努め、「史跡のまち」や「カムイヤキのまち」として新たな観光資源に繋がられるよう取り組んでいただきたいと思います。

次に3月17日から19日までの3日間、本議事堂で実施された当

初予算審査特別委員会の室内審査において、委員より指摘や要望のあった主な重点事項についてご報告致します。

- ・まず一般会計歳入について、地方消費税交付金は消費税 10%のうち 2.2%が県に入り、その半分が市町村へ交付される仕組みとなっているが、私たち離島過疎地域にとっては貴重な財源の一部である。限られた自主財源での行政運営を行っていると同時に、県本土と離島の公平性を確保する意味合いからも、交付率の見直しについて要望活動を行うなどの取組みを検討すること。

- ・歳出について、令和 7 年度より新たに堆肥センター堆肥のペレット化事業として計上された資源リサイクル畜産環境整備事業については、高騰し続ける肥料、飼料を考慮したとき、堆肥のペレット化による農家支援策は急務であります。先般、自民党森山幹事長より牛糞等の国内資源を活用した堆肥による耕畜連携強化に関して言及もあったことから、早急な事業実現に向け取り組むこと。

- ・本年 4 月より開催される大阪関西万博へ健康・美・長寿の秘訣と観光資源の魅力を国内外に発信することを目的に全国から 12 自治体とともに万博への出展が計画されていますが、広報誌や SNS を活用し町民、出身者等へ広く周知に努めること。

・町内8地区において進められている畑総整備事業は、これからの農業振興において非常に重要であることから、同意取得をはじめより一層の推進に向けた取り組み強化と国・県90%の補助率を鑑み、積極的な新規事業獲得に努めること。

・保育士等修学資金貸与事業について、令和6年度新規事業として計上されたが、現時点において未だ申し込みが無い状況とのことであり、町民へさらに広く発信するよう努めること。

・人口増加推進事業における引っ越し費用補助金について、移住者に対し、より一層魅力ある予算措置の在り方を検討すること。

・子育て支援事業における母子交流・相談支援等の取り組みについて、「子宝のまち」として掲げている本町にとっては非常に重要な取り組みであり、利用者の声を広く発信するなど更なる周知に努めること。

・観光費に計上された登録手数料をはじめ、各課において毎年継続的に計上されている予算に関して、限られた予算を有効活用するため費用対効果の検証を行い無駄のない支出に努められるよう要望いたします。

・最後に、廃目整理となった学校設備費に関しては、補正予算等の審議の中でも事故繰り越し扱いにするのではなく、明許繰越費として計

上し、正当に議会への承認を得るべきであったと、多くの委員から指摘があり予算の取り扱いに疑義が抱かれましたが、今後二度と同様な事案が起こることの無いよう強く要望します。

次に、徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計予算について、施設正面入り口の照明が故障していることから、夜間は足元が暗く危険性が高いことから、早急な対応を求めます。また、来館者に対し施設内各部屋の利用内容が分かる案内板等の設置を検討されるよう要望します。

以上が、主な事項であり指摘された事項については真摯に受け止め尽力されるよう申し添えます。

審査の結果、令和7年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算は原案可決すべきものと決定いたしました。

以上、当委員会に付託されました、「令和7年度伊仙町一般会計予算他5特別会計予算」についての審査結果の報告といたします。

令和7年3月21日

令和7年度当初予算審査特別委員会副委員長 清 平二